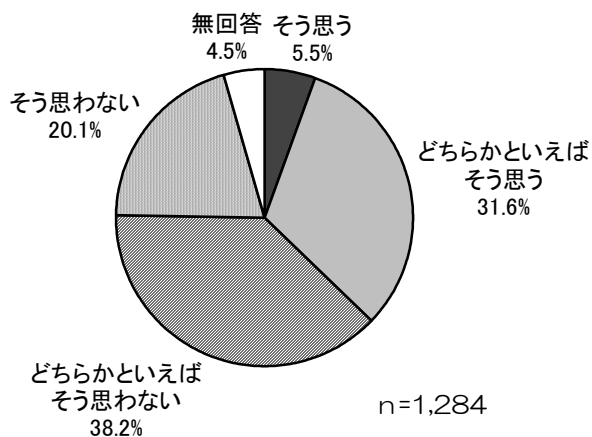


## 15 行政

### (1) 市民の声を行政に反映させる仕組み（B：問 32）

問. 市民の声を政策や市の取組に反映させるための仕組みは十分だと思いますか。（1つだけ）

図 15-1-1 市民の声を行政に反映させる仕組み



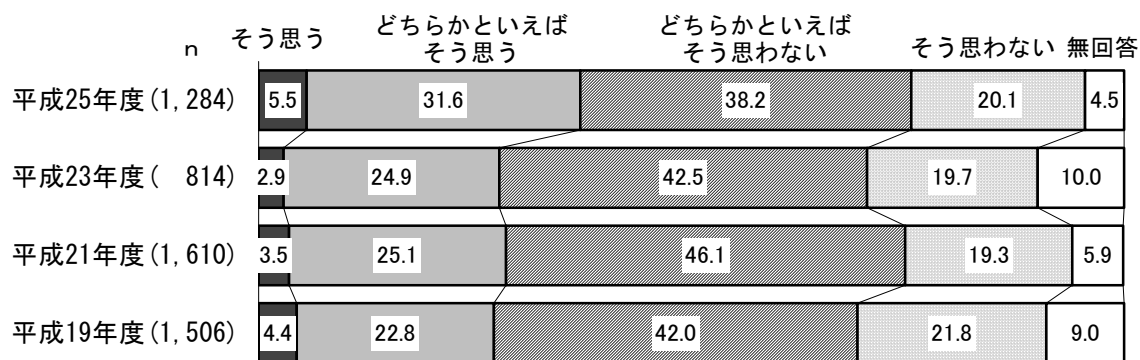
#### 【全体】

市民の声を行政に反映させるための仕組みは十分だと思うか聞いたところ、「そう思う」（5.5%）と「どちらかといえばそう思う」（31.6%）を合わせた『そう思う』が37.1%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」（38.2%）と「そう思わない」（20.1%）を合わせた『そう思わない』が58.3%で6割に近く、『そう思う』よりも高い結果となっている。

#### 【経年変化】

経年による変化では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が、過去3回の調査では全体の3割弱だったが、今回調査（37.1%）では高い結果となっている。

図 15-1-2 市民の声を行政に反映させる仕組み—経年変化



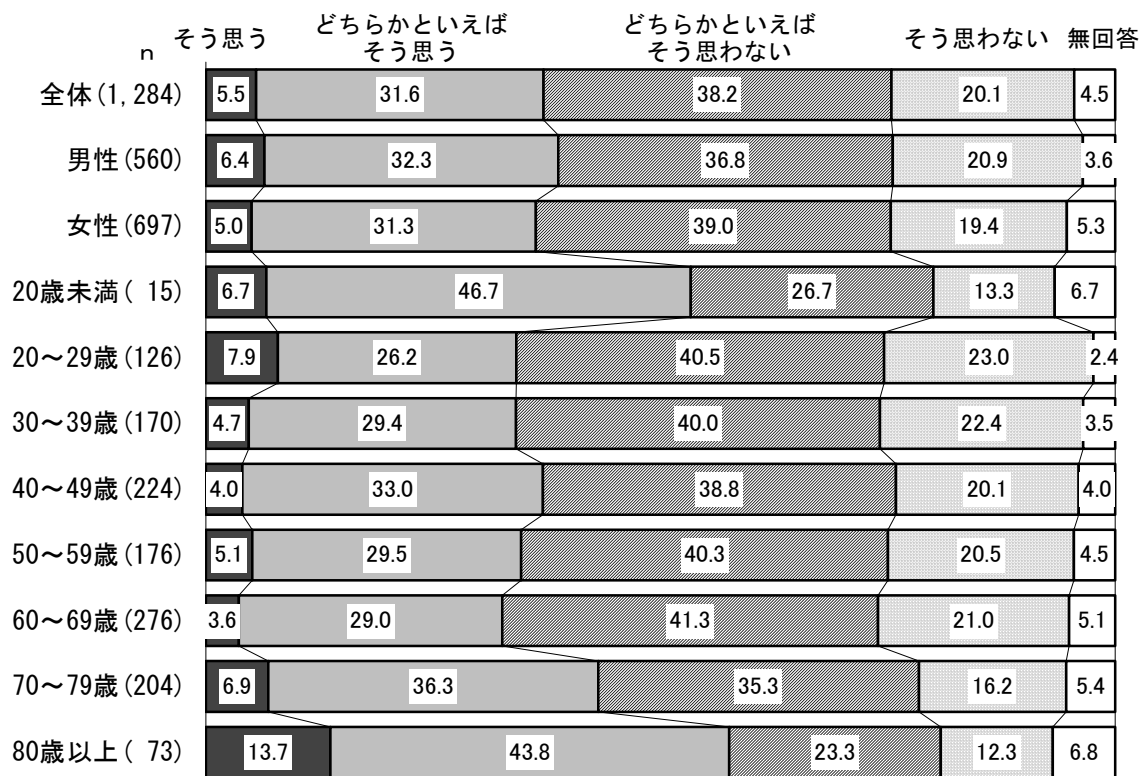
単位：%

【属性別】

性別で見ると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別で見ると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が70歳以上で4割以上と高くなっている。

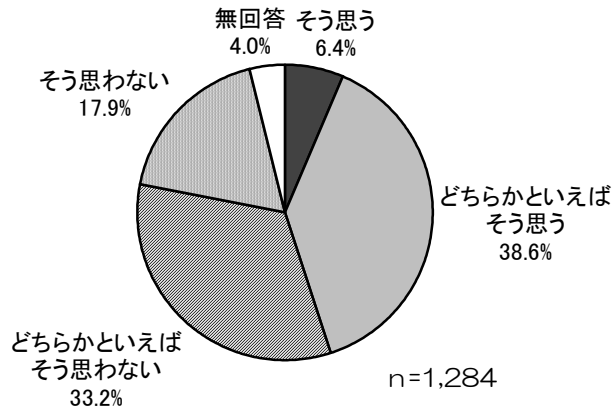
図 15-1-3 市民の声を行政に反映させる仕組み—性別、年齢別



(2) 行政情報の公開状況 (B: 問 33)

問. 行政の情報が積極的に公開されていると思いますか。(1つだけ)

図 15-2-1 行政情報の公開状況



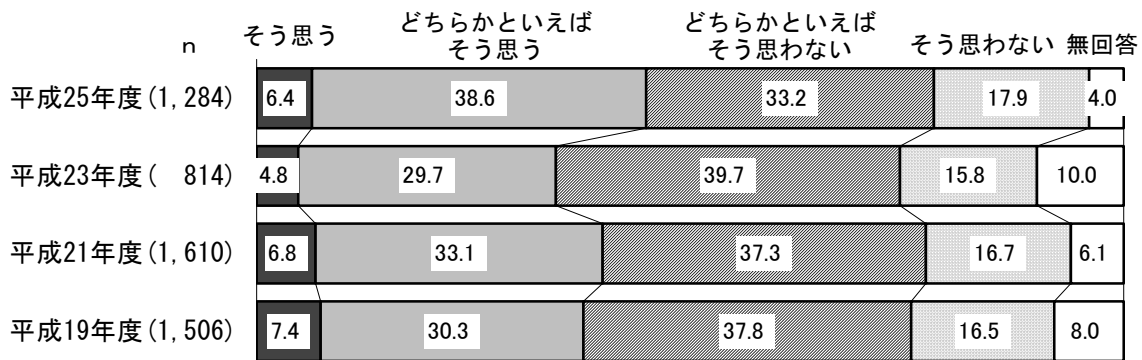
【全体】

行政の情報が積極的に公開されていると思うか聞いたところ、「そう思う」(6.4%)、「どちらかといえばそう思う」(38.6%)を合わせた『そう思う』が45.0%となっている。一方、「そう思わない」(17.9%)と「どちらかといえばそう思わない」(33.2%)を合わせた『そう思わない』が51.1%で半数を超えている。

【経年変化】

経年による変化では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が45.0%と増加しており、直近4回の調査で最も高い結果となっている。

図 15-2-2 行政情報の公開状況—経年変化



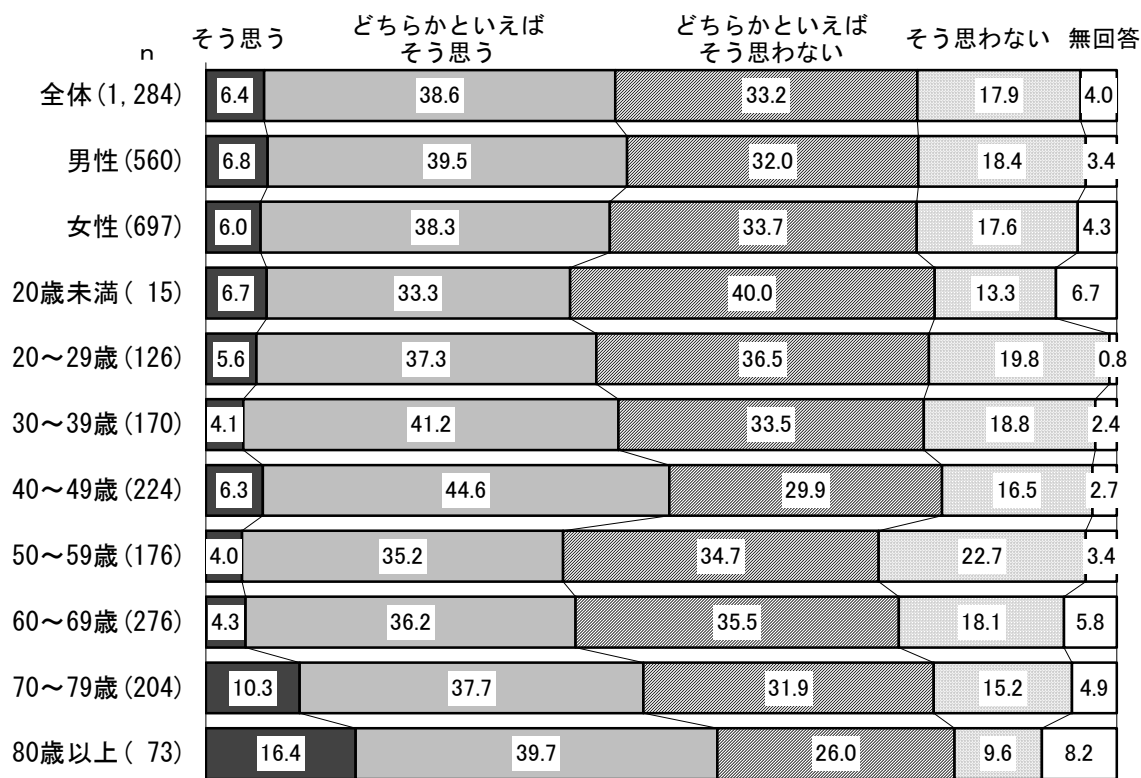
単位：%

【属性別】

性別で見ると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別で見ると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が40歳代（50.9%）、80歳以上（56.1%）で5割を超え高くなっている。

図 15-2-3 行政情報の公開状況—性別、年齢別

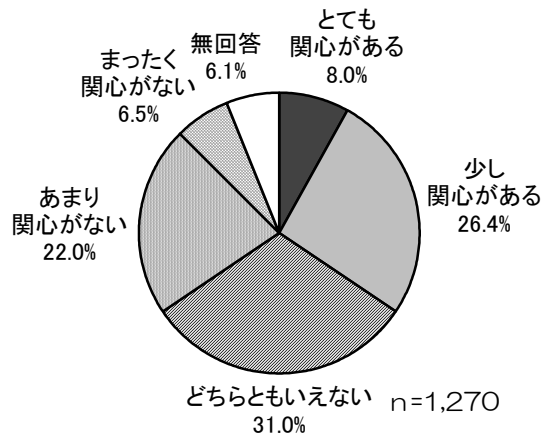


単位：%

### (3) 「市民協働によるまちづくり」(A：問32)

問. 市民協働のルールとして、平成24年10月に厚木市市民協働推進条例が制定されました。市民と行政が連携・協力して共に取り組む「市民協働によるまちづくり」に関心はありますか。(1つだけ)

図 15-3-1 「市民協働によるまちづくり」



#### 【全体】

「市民協働によるまちづくり」に関心があるか聞いたところ、「とても関心がある」(8.0%)、「少し関心がある」(26.4%)を合わせた『関心がある』(34.4%)が3割半ばとなっている。一方、「まったく関心がない」(6.5%)と「あまり関心がない」(22.0%)を合わせた『関心がない』(28.5%)は3割弱となっている。

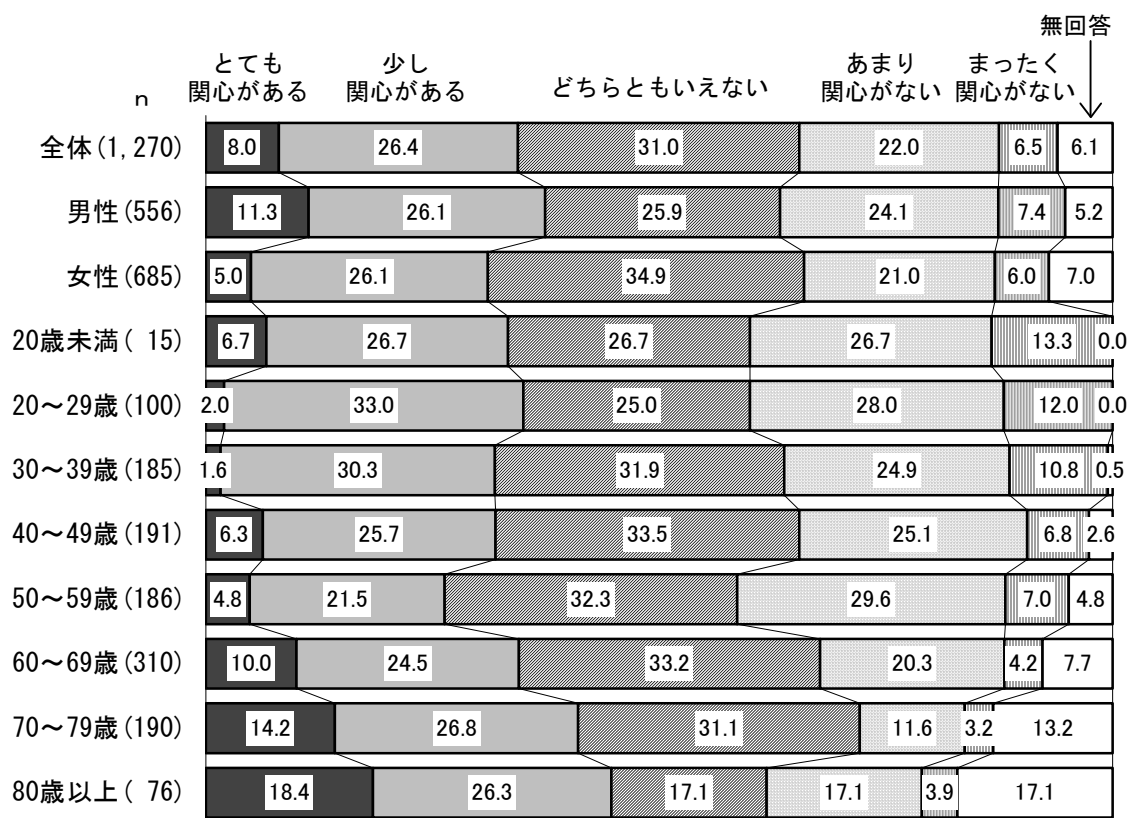
#### 【経年変化】

新規設問のため、経年変化は掲載していない。

【属性別】

性別で見ると、男性では「とても関心がある」（11.3%）が女性よりも6.3ポイント高い。  
 年齢別で見ると、「とても関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』は、70歳代（41.0%）と80歳以上（44.7%）で4割を超えて高くなっている。

図 15-3-2 「市民協働によるまちづくり」－性別、年齢別



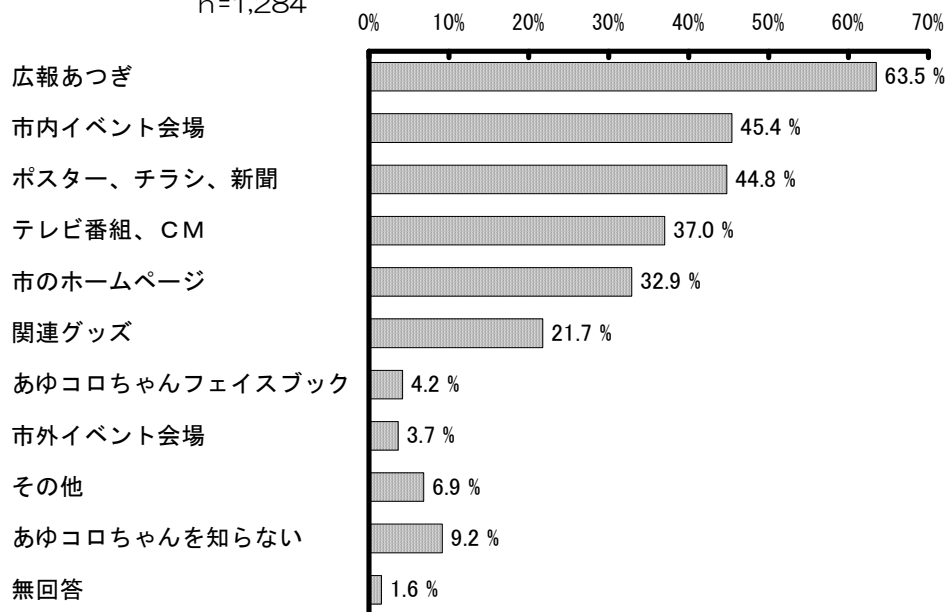
単位：%

#### (4)「あゆコロちゃん」の認知度 (B:問34)

問. あなたは厚木市のマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」をどこで見たことがありますか。(いくつでも)

図 15-4-1 「あゆコロちゃん」の認知度

n=1,284



#### 【全体】

厚木市のマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」についてどこで見たかを聞いたところ、「広報あつぎ」(63.5%)が最も高く、次いで「市内イベント会場」(45.4%)、「ポスター、チラシ、新聞」(44.8%)、「テレビ番組、CM」(37.0%)、「市のホームページ」(32.9%)となっている。

#### 【経年変化】

新規設問のため、経年変化は掲載していない。

【属性別】

性別で見ると、女性は「テレビ番組、CM」（43.9%）が男性を 14.6 ポイント上回っている。次いで、「広報あつぎ」（69.9%）、「市内イベント会場」（50.8%）、「関連グッズ」（26.8%）、「ポスター、チラシ、新聞」（49.5%）など 10 ポイント以上大きく上回っている項目が多くなっている。

年齢別で見ると、20 歳代では「広報あつぎ」を除いたその他の選択肢では、全体より高い結果となった。また、20～49 歳では「広報あつぎ」、「市内イベント会場」、「ポスター、チラシ、新聞」での回答が半数を超えるなど、若い年代に浸透していることがわかる。

一方、おおむね年齢が上がるにつれ「あゆコロちゃんを知らない」との回答が高くなる傾向にあり、60 歳以上では 1 割を超えている。

表 15-4-1 「あゆコロちゃん」の認知度—性別、年齢別

(単位：%)	市のホームページ	あゆコロちゃんフェイスブック	広報あつぎ	市内イベント会場	市外イベント会場	テレビ番組、CM	ポスター、チラシ、新聞	関連グッズ	その他	あゆコロちゃんを知らない	無回答
全体 (n=1,284)	32.9	4.2	63.5	45.4	3.7	37.0	44.8	21.7	6.9	9.2	1.6
男性 (n=560)	33.8	3.8	55.7	39.5	3.0	29.3	39.1	15.7	7.0	11.8	1.8
女性 (n=697)	32.7	4.7	69.9	50.8	4.3	43.9	49.5	26.8	6.9	6.5	1.3
20歳未満 (n=15)	33.3	6.7	60.0	33.3	6.7	60.0	73.3	33.3	20.0	6.7	0.0
20～29歳 (n=126)	42.9	8.7	56.3	57.9	10.3	56.3	60.3	33.3	13.5	3.2	0.0
30～39歳 (n=170)	43.5	8.8	62.4	60.0	3.5	51.8	57.6	33.5	10.6	3.5	0.6
40～49歳 (n=224)	45.5	2.7	70.1	62.1	4.9	45.5	54.9	31.7	8.0	5.4	1.3
50～59歳 (n=176)	26.7	4.0	60.8	36.9	1.7	41.5	42.6	22.2	5.1	9.1	1.7
60～69歳 (n=276)	25.0	2.5	64.9	37.0	2.9	23.9	34.4	13.8	3.6	12.7	1.1
70～79歳 (n=204)	23.0	2.5	62.3	33.8	2.5	24.0	35.3	8.8	3.4	14.7	2.5
80歳以上 (n=73)	27.4	2.7	65.8	26.0	0.0	16.4	21.9	6.8	5.5	16.4	4.1